

## 4年1組 道徳科学習指導案

### 主題構成表

**主題名** みんなが気持ちよく  
**資料名** どっちがいいか

#### ■内容項目C 規則の尊重

約束や社会の意義を理解し、それらを守ること。

#### ■価値の分析

- ・児童が成長することは、同時に所属する集団や社会の様々な規範を身に付けて行くことでもある。そのためにも、約束や法、きまりを進んで守ることができるようにすることが必要である。
- ・社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して、法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、それを進んで守り、自他の権利を尊重するとともに義務を果たすという精神をしっかりと身に付けるように指導する必要がある。
- ・中学年の発達段階では、気の合う仲間や集団の中のきまりをつくり自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。
- ・一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るようにしていくことが大切である。
- ・集団生活をする上で、一人一人が相手や周りの人の立場に立ちよりよい人間関係を築くことや、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりを十分考えさせたい。

#### ■内容項目から見た児童の実態(意識)

- ・学校生活では、様々な約束やきまりがあり、児童は、約束やきまりを守らなければならないという意識はある。
- ・しかし、自分のやりたいことを優先したり、仲間につられたりすると、約束やきまりを守ることができない児童もいる。さらに、言われるから、叱られるからルールを守るといった意識の児童もいる。

#### (要因)

- ・約束やきまりを守らねばならないことが分かっているも、仲間につられてしまい、守らなくてもいいという気持ちになってしまう。
- ・約束が「何のために」「だれのために」あるかという意識があまりない。また「他の人に迷惑がかかっている」ことや「みんなが気持ちよく生活できない」という認識がないので、きまりや約束の意義を考えさせたい。

#### ■資料の分析

- ・この資料は、社会のきまりがない生活と何もかもにきまりのある生活という極端な例が示されている。具体的かつ対照的に描かれたきまりの有無を比較・検討することによって、その目的やよさについて考え、理解することのできる教材である。
- ・ルールのない村とルールのある村のよさと問題点を比較し、ルールがあっても問題点があることととらえる。
- ・ルールは「何のために」「だれのために」あるのかを考えさせる。
- ・ルールが自分勝手な行動を抑え、衝突や争いを防ぐきまりの機能だけでなく、きまりは相手や周りの人たちが気持ちよく生活を送ることができるということに気づかせたい。

#### ■ねらい

約束やきまりの意義を理解し、相手や周りのことを考えて、それらを守って生活しようとする態度を育てる。

#### ■他の教育活動との関連

事前

学級活動

西小学校「生活のきまり」を改めて確認する。

本時

『どっちがいいか』

C 規則の尊重

事後

帰りの会

生活目標「校舎内では、静かに落ち着いて生活しよう」を振り返る。

日常生活：相手や周りのことを考えて、ルールを守ることができる。

## 2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇ルールについて考える。</p> <p>○学校生活の中にあるルールには、「どのようなもの」があるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のルール（話し方・聞き方など）</li> <li>・生活のルール（廊下歩行・時刻など）</li> </ul> <p>○ルールは多い方がよいか、少ない方がよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールが多いと面倒。縛られる。嫌だ。</li> <li>・少ないと勝手なことが起きる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にワークシートに記入させておく。</li> <li>・「多い」と「少ない」それぞれのよさと問題点を簡単に挙げ、この教材で考えようと投げかけて教材に入る。</li> </ul>
展開	<p>◇資料「どっちがいいか」を読み、ルールや目的の意義について考える。</p> <p>○ルールがない村とある村では、どちらが暮らしやすいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールがないとみんなが元気で明るい。自分の思い通りになる。</li> <li>・ルールがないと自分勝手になり、言い争いが出てくる。</li> <li>・ルールがあると争いがなくなり、おだやかに過ごせる。</li> <li>・ルールがあると窮屈で不便。</li> </ul> <p>◎ルールは何のためにあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手な行動や争いを減らすため。</li> <li>・迷惑をかけないようにするため。</li> <li>・おだやかに過ごすため。</li> <li>・気持ちよく過ごすため。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【深めの発問】</b></p> <p>○「ルールはだれのためにあるのだろうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や周りの人、自分のためにルールはある。</li> </ul> </div> <p>○相手や周りのことを考えて学習や生活のルールを守ることには、どんなよさがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話している人のことを考えて、話している人の方を向いて聞くとお互いに気持ちがいい。</li> <li>・周りの人のことを考えて、時刻を守ると気持ちよく授業や掃除が始められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールがない村の方がいいか、ルールがある村の方がいいか挙手して自分の考えを明らかにする。</li> <li>・ルールがない村とルールのある村には、それぞれのよさと問題点があることを考えさせる。</li> <li>・まず、ワークシートに自分の考えを書いた後、グループで交流する。</li> <li>・ルールがお互いに気持ちよく生活するためにあることに気づかせる。</li> <li>・相手や周りのことを考えてルールを進んで守るよさを考えさせる</li> </ul>
終末	<p>◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。</p> <p>○これから周りのことを考えて、どんなルールをどうしていきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全のためにろうかを走らない。</li> <li>・みんなの学習のさまたげにならないために、人の話の途中で口をはさまない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書くことで理解を確かにし、実践への意欲や態度につなげる。</li> </ul>